



第 14 回 例会 報告 (10月19日)

【 出 席 報 告 】

・会員数 50名 ・出席数 32名 ・欠席数 18名
 ・当日出席率 67.39% ・前々回修正出席率 97.87%

<欠席会員> 平田、菅、冠、木村、近藤、河野、桑森、眞鍋、宮道、中村、岡本、大河内、辰巳、田中、吉田

〔免除会員〕 檜垣(巧)、光藤、白石

<9/28 欠席補填> (10/3 今治南) 檜垣(明)、吉良、松木(徹)、松木(久)、村上(裕)、中村、西信、尾越、岡本、八木(伸)

◇入会式 ・伊予銀行今治支店長 別府孝也(べっぶたかや) 氏の入会式が行われました。

◇会長報告 ・15回以上皆出席の出席優秀者表彰(松木徹夫会員・渡邊道信会員=25回、吉良敏彦会員=24回、大澤正尚会員・渡辺易廣会員=22回、尾越優会員=21回、久米操会員=17回、平尾浩一郎会員=16回、西本信保会長・西信正男会員=15回)を行いました。欠席者は次週表彰します。

・10月5日の例会終了後、定例理事会にてプログラムの協議をしました。議事録は事務局にあります。

◇幹事報告 ・11月2日(木)の例会は当会議室が使用できないため国際ホテル2階ローズの間にて開催します。

・11月9日(木)に予定していた職場訪問例会は11月16日(木)に変更します。(株)八木酒造部さんを訪問

・10月7・8日に高知県立春野総合運動公園野球場で行われたガバナー杯軟式野球大会で川之江 RC からお酒を、松山南 RC からお菓子の詰め合わせをいただきました。また、3位入賞の表彰状と副賞の鯉のタタキ1本をいただいています。

◇親睦活動委員会・お誕生日スピーチ ・八木正史会員(45歳): 昨年この場に立ったとき、翌年は幹事職を引き受けていることなど頭にもありませんでした。だからといって大きいのは顔だけで、態度は大きくありません。これからも粛々と進めてまいりたいと思います▼八木伸樹会員(44歳): 先週、パリの日本酒展示会に参加した際にアイルランドへ赴き、昨年の新会員卓話で私の趣味である海外旅行は38、とお話した訪問国数が1年経って39に増えました。来年も報告ができるよう、楽しんでいきたいと思っています。

創立記念例会

◆今治 Go!Go!ヒストリー塾 塾長 大成経凡様『今治 RC 発会式とチャーターナイト』: 1965年に刊行された『30年のあゆみ』では発会式とチャーターナイトにボリュームが割かれ、日本で14番目(実際は函館 RC より前の13番目)の RC と誇らしげに書かれています。四国で最初の RC となり得た理由も記載されており、後にチャーターメンバーとなる立命堂病院長の三藤香吉が住友別子鉱山専務の三村起一から打診され、とあります。住友グループのお膝元である新居浜はグループ各社のトップが一斉に抜けると仕事にならないと尻込みしたため、四国初のキリスト教会を開くなど進取の気性に富み、四国のマンチェスターと呼ばれるほど綿織物業が盛んで、四国初の開港場を持つ今治が大坂 RC から最初に誘われた新居浜に先じたのです。▼昭和9(1934)年10月17日(水)、旧今治市公会堂において今治 RC 発会式が行われました。初代会長・阿部秀太郎は太平洋戦争当時今治市長を務めることになる人物。彼の父・光之助は今治タオルの父と称される阿部平助の弟で、今治政財界の首領とも言える元老でした。その光之助は今治 RC 発会式の前年に亡くなっており、つまり今治経済界の次代を率いる精鋭たちが結集した新組織がここに誕生したわけです。▼発会式の模様は10月19日付けの海南新聞(愛媛新聞の前身)に掲載されていますが、ここに書かれたメンバーとチャーターメンバーには差異があります。具体的には堀田駒造(柳町郵便局長)と齋藤為助(伊予商運常務)が増え、柳瀬存(興業舎舎主)の名前が消え、飯忠太郎から飯義寿(吉忠回漕店店主)に変更されました。柳瀬存は兵庫県の須磨在住。毎週の例会出席はかなわないためメンバーから外れた、と推測します。▼チャーターナイトに先立つこと2週間、5月4・5日に京都で822名を集めて第70地区大会が開催されました。今治 RC からは家族を含めて21名が参加。今治商工会会長の木原茂と三藤香吉が向かった、と5月6日の海南新聞「公人私人」欄に動静が記されています。▼そしていよいよ昭和10(1935)年5月19日(日)、来賓70名・会員50名で盛大にチャーターナイトが行われます。朝8時に片原町の吉忠旅館に集合し、四阪島の住友精錬所を見学、尾越光治郎が尽力した鯛網観光・昼食を経て、大三島・大山祇神社を参拝、波止浜公園渦潮楼での伝達式という流れでした。鯛網は今でこそ福山・鞆の浦が有名ですが、昭和12(1937)年には今治に鯛網観光協会が誕生しています。▼この日のクルージングは門司 RC 会長で門司商工会議所会頭だった出光佐三をして「今は小さな波紋かも知れないが、今日の式典を見るにいずれは日本を巻き込む渦になるやも」と言わしめる盛大なものでした。背景にはこの年5月2日に開かれた政府主催の「第1回東洋観光会議」など、東洋観光振興熱があったからかも知れません。まさに時代の潮流に乗ったチャーターナイトだったと言えるでしょう。

<ゲスト> 今治Go!Go!ヒストリー塾 塾長 大成経凡様

次回例会(10月26日)

【 新会員卓話 】

<配偶者誕生祝> 吉武 誠治氏(10/29)

〔 俵屋 〕